

公益財団法人 尚志社（武田薬品工業（株）の企業財団）
平成29年度奨学生募集要領

1. 当財団の概要と奨学生募集の趣旨

大正12年（1923年）に、五代武田長兵衛（和敬翁）が、私費を投じて苦学生への学費支援を始めたことに当財団の源があります。

この後その遺志が受け継がれ、昭和35年（1960年）に育英事業を目的とする財団法人尚志社として設立され、平成24年12月3日、公益財団法人に移行いたしました。

五代武田長兵衛の精神に基づき、将来社会に役立つよう勉学に勤しむ学徒に対して、卒業後の進路を各自の自由意思に委ねることを前提とした返還不要の奨学金制度を設けています。

2. 募集方法について

(1) 奨学生の応募資格：

当財団の奨学制度に応募する学生は、医学群医学類、大学院人間総合科学研究科医学系専攻（看護科学専攻を除く）に在学する日本人であって、次の学年（受給開始時）の者としします。

学部生：6年制学科の3年、4年、または5年

大学院生：修士課程（博士前期課程）1年、または
博士課程（博士後期課程）1年

また、次の①～⑤の条件を満たすことを必要とします。

① 成績基準

学部生、修士1年：本人の属する学部（科）の上位10%以内

博士1年：大学および大学院における成績が特に優れていること。

② 年齢基準（平成29年4月2日現在）

学部3年：25歳未満（学部4年以降は1歳ずつ加える）

修士1年：30歳未満

博士1年：35歳未満

③ 奨学生選考委員会による面接（後述）を必ず受けることができること。

④ 奨学金受給期間中は、当財団が定期的実施する社友懇話会（年1回）に必ず出席すること。また、受給期間終了後も出来るだけ出席すること。

⑤ 受給期間を通じて最低1回（原則として採用年に）機関紙「尚志」に必ず寄稿すること。

なお、以下の家計基準を満たすことが望ましいが、必須ではありません。
学部生、大学院生とも、日本学生支援機構が定める大学生向け第一種奨学金（無利息貸与）の家計基準＜収入・所得の上限額の目安＞を上回らないこと。また、本人（配偶者がいる場合は配偶者も含む）に定職収入がある場合は上記家計基準の判断にそれを含めること。

- (2) 募集人数： 1名
 (3) 給付期間： 正規の最短修業期間
 (4) 給付額：

		学部生		大学院生	
		3・4年	5・6年	修士課程	博士課程
入学金		—		実費（上限30万円）	
授業料・他正規納入金額		実費（上限100万円）			
書籍及び下宿補助 （月額）	自宅通学	30,000円	40,000円	50,000円	
	自宅外通学	40,000円	50,000円	60,000円	

- (5) 応募手続き：
 当財団の奨学金希望者は、大学の定める方法により応募して下さい。
- (6) 他の奨学金との併用について：
 当財団は、奨学金の支給を通じて、一人でも多くの優秀な学生が将来において社会に貢献できるよう勉学に励んでいただきたいと思います。従って、他の奨学金との併用は、(独法)日本学生支援機構の貸与奨学金以外、原則として認めていません。
 他の奨学金と併せて出願することは差し支えありませんが、そのいずれにも採用された場合はいずれか一方を選択していただきますので、応募に際して併願先を申し出てください。

3. 選考方法・提出書類について

当財団が定める奨学生の応募資格に基づき、大学にて選考された推薦者を対象として5～6月に当財団の「奨学生選考委員会」にて選考(面接)を行い、採用者を決定します。(応募条件を満たしていても、書類選考・面接により不採用となる場合があります。)

なお、選考委員会の選考を受ける者は、当財団が指定する次の書類を当財団に提出してください。

- ① 奨学生願書（様式第1号）
- ② 志願者調書（様式第2号）
- ③ 奨学生推薦書（様式第3号）
- ④ 入学許可書／合格証明書または在学証明書
- ⑤ 現在または最近在学した学校の学業成績証明書 ※注1
- ⑥ 小作文（800字程度） ※注2
- ⑦ 保護者の所得証明書類
- ⑧ 健康診断書（様式第4号、大学の様式で代替可、後日提出可）

注1) 博士後期課程の応募者は学部および大学院の両方の成績表を添付すること。

注2) 自分で自由に作文のタイトルをつけてください。

内容例：これまでの取組み／大学（大学院）での目標や抱負、将来の夢など

4. 決定および通知について

選考委員会にて選考を行ない、理事会の承認により決定し、7月中旬までに大学を通じて本人に通知します。

5. 支給開始について

平成29年8月に、前期分の授業料、4～8月分の書籍及び下宿補助と、入学金がある場合は入学金を支給し、以降、偶数月に振込をいたします。

6. 支給打ち切りおよび返還について

奨学生が傷病等のために成業の見込みがない等、奨学生として適当でないときは奨学金の支給を打ち切るものとし、また、事情が悪質である場合は、奨学金の返還を求めることがあります。

7. その他

(1) 個人情報の取扱いについて

- ① 当財団は、応募される方の個人情報を奨学生の採用選考のために必要な範囲で利用し、それ以外の目的には一切使用いたしません。
- ② 当財団は、法令等に定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供いたしません。
- ③ 当財団は、取得した全ての個人情報を厳重適正に管理し、必要な措置を講じます。
- ④ 当財団は、本人から個人情報の開示・訂正・追加・削除および利用の停止の要請があった場合、本人確認を行った上で速やかに対応いたします。

(2) 応募書類について

ご提出いただいた応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。

<必要書類送付先・問い合わせ先>

〒540-8645

大阪市中央区道修町二丁目3番6号 武田薬品工業株式会社内

公益財団法人尚志社 事務局長 能登谷浩平

TEL: 06-6204-2267 FAX: 06-6204-2026

E-mail: jimukyoku@shoshisha.or.jp

以上

(様式第1号)

西暦 年 月 日

公益財団法人 尚志社
理事長 吉田豊次 殿

(ふりがな)
氏 名 印

奨学生願書

私儀、今般貴社奨学金の支給を受けたく所要書類添付のうえ申請いたします。

記

就学大学	学校名	
	学部/研究科	
	学科・専攻	
	学年	(2017年4月時点)
支給希望期間	西暦 2017 年 4 月 から 西暦 年 月 まで (年 月間)	
支給希望理由		

署名欄①	現住所	親族(続柄)	()
		氏 名	印
		(西暦 年 月 日生)	

署名欄②	現住所	指導教員	
		氏 名	印
		(西暦 年 月 日生)	

※応募書類を確認のうえ、署名欄①(親族)、署名欄②(指導教員)に各自自署・押印願います。

(様式第2号-1)

写 真 貼 付

1. 最近6ヶ月以内撮影の正面
半身脱帽のもの
2. 縦 6~6.5cm 横 4~4.5cm

公益財団法人 尚 志 社 志 願 者 調 書

西 曆 年 月 日 現 在

ふりがな		配偶者の有無
氏 名		有 ・ 無
生年月日	(西曆)	(満 歳)

ふりがな		郵便番号		
現 住 所				
Eメール アドレス	(PC)			
	(携帯)			
電話番号				
ふりがな		郵便番号		
帰省中または 休暇中の 連 絡 先		電話番号		
学 歴 高校入学より 在学中の学校 も記入	学 校 名	学 部 又 は 学 科 名	在 学 期 間 (西 曆)	
			自 年 月 至 年 月	
			自 年 月 至 年 月	
			自 年 月 至 年 月	
			自 年 月 至 年 月	
			自 年 月 至 年 月	
			自 年 月 至 年 月	
職 歴 (あれば記入)	勤 務 先	期 間	担 当 業 務	
		自 年 月 日 至 年 月 日		都 道 府 県
		自 年 月 日 至 年 月 日		都 道 府 県

※黒インクまたは黒ボールペンで自筆のこと

(様式第2号-2)

ゼミナール または 研究課題	(テーマ)
	(指導教員)
趣 味	
資 格 免 許 <small>注) もしあればTOEIC/TOEFL/ IELTS/英検スコアも記載のこと</small>	
将 来 目 標	
現在必要としている学資の 金額およびその調達方法 <small>注) 本人に定職収入がある 場合はその旨も記載のこと</small>	
他機関から既に給付又は貸与 を受けている奨学金の有無	無 ・ 有 (機関名等 :)
現在、他機関へ併願している 奨学金の有無 <small>注) 日本学術振興会の特別研究員等に 応募している場合もその旨記載のこと</small>	無 ・ 有 (機関名等 :)
家族構成 (年齢) <small>注) 本人を除く。既婚の場合は 現世帯の家族構成を記載のこと</small>	例) 父 (50)、母 (45)、弟 (20)、妹 (16)

奨学生推薦書

推薦者へのお願い：この様式は学生が尚志社奨学生に応募する際に必要な書類です。本様式の別紙をご参照のうえ、ご協力をお願いいたします。

※ 本推薦書の作成者は、応募学生の指導教員もしくはそれに代わる者（クラス担任等）に限ります。

※ 推薦書の内容が応募学生の目に触れぬよう、同封の封筒に密封して提出してください。

応募者氏名： _____ (推薦者が記入のこと)

推薦者氏名： _____ (推薦者が記入のこと)

以下、推薦者をご記入ください。

1. どれくらい前から応募者をご存知ですか？ _____
2. 応募者に関して、それぞれの項目について、あてはまるところ一つに○印をつけてください。

	トップレベル	平均以上	平均	平均以下	知らない 評価不能
知力・学力					
コミュニケーション能力					
文章を書く能力					
誠実さ・正直さ					
感情的な安定					
熱意・チャレンジ意欲					

※ 上記評価について、あてはまるところ一つに○印をつけてください。

	推薦者が指導した（している）学生の中での相対的な評価
	推薦者が属している大学／学部／研究科内での相対的な評価
	推薦者が考える大学生／大学院生の「あるべき姿」を基準とした評価

(様式第3号)

3. 応募者の人物／学業・研究状況／経済状況・健康状態・その他について、特記事項があれば、ご記入ください。

(必要に応じて、このページをワープロ等で作成したものに差し替えていただいても結構です)

(様式第3号)

4. 応募者の全体的な能力について、以下から一つお選びください (○印をつけてください)。

トップ レベル	平均以上	平均	平均以下	知らない 評価不能

上記を踏まえて、応募者を強く推薦する。

署名・捺印： _____ 印

最後に、この推薦状をお書きいただいた推薦者ご自身についてご記入ください。

所属・役職	
所属施設所在地	
メールアドレス	
記入日	

(様式第3号)

奨学生選考のための推薦書について（別紙）

尚志社では、奨学生選考の判断において、成績証明書の内容や課題作文、選考委員会当日の面接等の結果のみならず、大学で学業・研究に取り組んでいる日常の態度や将来の可能性等を含め、応募者を総合的に評価するために、推薦書を重要視したいと考えております。言い換えますと、私どもが求める推薦書は、単に応募者を推薦していただくという意味だけではなく、あらかじめ推薦者に応募者を評価していただくという意味合いを含むものでございます。

このような趣旨をご理解のうえ、尚志社奨学生の応募にあたり、推薦者は、テンプレートに沿って、ご自身が知りうる限り正確に応募者を評価していただき、推薦書を作成していただきたく存じます。

不明な点などがございましたら、尚志社事務局（jimukyoku@shoshisha.or.jp）までご連絡いただければ幸いです。なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

平成29年 1月20日

公益財団法人 尚志社事務局

公益財団法人 尚 志 社
理事長 吉 田 豊 次 殿

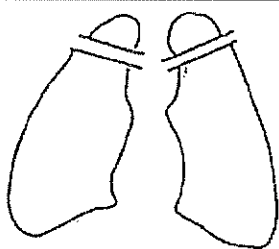
健 康 診 断 書

下記のとおり診断いたします。

医師住所

氏 名

印

氏名		性別	男 女	生年 月日	西曆	年	月	日	満	年	ヶ月
既往症											
家族歴	父				兄弟						
	母				姉妹						
身長	cm	体重	kg	胸	囲	cm					
色覚				視力	左		右				
血圧	~			聴力	左		右				
心電図				検尿	蛋白()、糖() ウビリ()、潜血()						
レントゲン 直接間接撮影	 <p style="text-align: right;">所見</p>										
感覚器 呼吸器 消化器 神経系 その他病名 及び所見											
就学上の 注意											

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____									
	学籍番号	_____	性別 男・女 _____								
	フリガナ	_____									
	氏 名	_____	_____								
		課程 _____	研究科 _____								
		専攻 _____ 年次 _____									
		現住所	〒 _____ TEL (_____)								
		家族住所	〒 _____ TEL (_____)								
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額		
		父				年			万円	万円	
		母					年		万円	万円	
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()									
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()									
							年		万円	万円	
							年		万円	万円	
							年		万円	万円	
							年		万円	万円	
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額	
本人					筑波大学	国立		※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無								
	障害者がいる世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()						
	その他										
本 人 の 状 況	家庭からの給付	月額 (千円)									
	アルバイト	月額 (千円) 内容 ()		総収入金額 ① 万円							
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()		必要経費 ② 万円						
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()		特別控除額 ③ 万円						
	その他の収入	月額 (千円) 内容 ()		総所得金額 ④ = ① - ② - ③ 万円							
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人	
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円	
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥ = ④ ÷ ⑤ × 100	

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。